令和4年度

事業計画

社会福祉法人 南野育成園

【運営理念】

家庭で育つことができない子どもたちの心情に寄り添い、 「正直・勤勉・感謝」をモットーに自立した社会人としての成 長を支えます。

【基本方針】

主役は子どもです

子どもが本来持っている成長する力に寄り添います。 自らを肯定的に受け止め、人との信頼関係が結べるように 成長を支えます。

地域とともに歩みます

地域における子育て支援に、積極的に取り組みます。 地域の活動や行事に積極的に参加します。

職員もともに成長します

子どもたちとともにある生活を通して、子どもたちの声にならない気持ちに寄り添い、自らを高めることで子どもたちの心に届く支援を行います。

1. 運 営 目 標

(1) 子どもの最善の利益のために

私たち職員の専門性とは、特別なものではなく日々の生活の中で 五感を通して感じとる感覚こそが、子どもとの信頼関係を築く原点です。 そして、子どもたち一人ひとりの幸せを実現するという目標に向かって、 職員がしっかりと連携していくように努めます。

(2) 子どもの成長を信じる

日々の生活の中で、私たち職員は子どもの言動の奥にある想いをしっかりと受け止めます。子どもがきちんとすることではなく、子どもが子どもらしくあるかという視点が持てているかを絶えず振り返りながら、子どもは必ず成長していくことを信じます。

(3) 豊かな感性を育む

子どもたちは、大人と過ごす時間の中で、目には見えない心と心の つながりを学んで成長していきます。本当に大切なものは子どもたちと の何気ない生活の中にあります。一緒に遊んだり食事をしたりすることが、 子どもたちの心の中に原風景として残っていきます。そんな日々の積み 重ねこそが、子どもたちや私たち職員の感性を豊かにしてくれます。

2. 重点項目

1. 社会的養育の推進に向けて

- ① 2 か所目となる地域小規模児童養護施設の令和5年度開設を目指す。
- ② 小規模かつ地域分散化に向けた人材の確保と養成を行う。
- ③ 障害児に対して、生活訓練から職業訓練、そして個々に応じた生活及び就労の場へとつなげている。

2. 子どもの権利擁護

- (1)子どもたちの心の声に気づき受け止めていく。
- ②子どもが参加できることを増やし経験から学ぶ機会とする。
- ③「子どもの考える」を尊重し、自分で考える力を伸ばす。

3. 自立に向けた支援

- ①令和4年度より自立支援担当職員を配置し、その業務を軌道に乗せる。
- ②小さなことでも褒めることで、自信が身につくように支援する。
- ③地味で当たり前の生活の中でこそ身につく知恵を伝える。

4. 保護者・里親への支援

- ①親子再統合を目標に保護者支援を実施する。
- ②退園生の保護者とのつながりを大切にしたアフターケアを行う。
- ③関係機関と連携を強化し、家庭養育を推進する。

5. 人材の確保と育成

- ①3年目となる人事評価制度を通して、個人と組織のレベルを高める。
- ②ミーティング、フロア会議、主任会議などで情報を共有し、併せて若手職員へのスーパーバイズの場とする。
- ③実習生・ボランティアが働きたいと思える職場環境を目指す。

6. 地域支援機能の充実

- ①地域の各種会合に積極的に出席し、人脈を拡げていく。
- ②地域に向けた相談事業を企画・運営する。
- ③地域の中で出来ることに知恵を出し合い、実践していく。

3. 職 員 構 成

(令和4年4月1日)

職種	施設長	児童ホーム長	副園長	児童指導員	保育士	個別対応	家庭支援	里親支援	自立支援	心理療法	栄養士	調理員	事務員	嘱託医	合計
男	1	1	1	3		1		1						1 (1)	9 (1)
女				5	11 (2)		2		1	1	2	4 (2)	2	1	2 9 (4)
合計	1	1	1	8	11(2)	2	2	1	1	1	2	4 (2)	2	1 (1)	38 (5)

※()内は非常勤職員を再掲

4. 児 童 構 成

(令和4年4月1日)

【本 園】+【地域小規模児童養護施設】定員57名

	日中保育		こども園		小学生						中学生			高校生			∧ ∌I.
	2 歳	3 歳	年少	年長	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	合計
男			1		1		2	2	1	1	2	2	2	2	2	1	1 9
女	1		3	3			2	1	1	2	5	1	2	0	2	3	2 6
小計	1		4	3	1		4	3	2	3	7	3	4	2	4	4	4 5
合計	1 7			1 3					1 4				4.5				